

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	O175800291		
法人名	特定非営利活動法人 ほのか会		
事業所名	グループホーム おおきな家 東館		
所在地	夕張郡長沼町西町1丁目4-6		
自己評価作成日	平成29年2月17日	評価結果市町村受理日	平成29年3月24日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2016_6_022_kan=true&JigyosyoCd=0175800291-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成29年3月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用者様、一人ひとりの尊厳や思いを大切に生活が送れるよう支援していきます。 季節の行事や散歩等に参加し、地域住民との交流を多くもち、この地域にて楽しく、家庭的な雰囲気の中で、可能な限り、いつまでも、ご利用者様の笑顔があふれる、自立した生活が送れるよう支援していきます。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

グループホームおおきな家は、開設12年目を迎える2階建て2ユニットのホームで事業所内は明るく、利用者全員がゆったりと寛げるソファがあり、さりげない装飾品や観葉植物などを配置して家庭的な雰囲気を整えている。職員の利用者への対応は優しく、分かりやすい言葉とともに穏やかに会話することを心がけている。利用者の権利や自由な暮らしを保証しており、買い物、食事、お裁縫、外出など様々な要望等に耳を傾け、更に意向を引き出し、一つひとつのケアに結びつけ利用者との信頼関係を築いている。ケアマネジメントでは、日々の職員の気づきや情報を蓄積し、暮らしの現状の把握に努め、本人本位の暮らしの計画書になるよう取り組んでいる。利用者を介護する、されるの一方的な関係のみにせず、物事を一緒に行い、励まし合い、喜怒哀楽を共にする大切さを職員は理解し、共に暮らす関係性が築かれて和やかな生活を実現している。花壇や菜園の手入れ、町内会の活動、住民との交流や馴染みの人や場との関係の継続、音楽療法、全体や個別の外出、体操や談話、心温まる食事など、弛まぬ職員の努力が利用者の生きる力の源となり、利用者の暮らしの中に息づいている様子が伺える。法人本部のサポートが厚く、職員の労働環境の整備を始め、同法人の他の事業所と種々の物事を合同で執り行い、町のバックアップを得ながら、より良い運営に向け利用者、家族、職員が地域と共に一体となって理念を実践している事業所である。
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(東館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	[ゆったりと楽しく自由にありのままに暮らしの喜びと自信をみんなと共に]の理念に基づき、ご利用者様が日々生活が送れるよ努力しています。	地域密着型サービスの意義を盛り込んだ、分かりやすい文言の理念を標榜している。日常の業務の中で職員同士が理念について声をかけ合い、また、利用者へも伝えるなど、事業所全体の拠り所となっている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の「花いっぱい運動」や「清掃作業」に利用者様と一緒に参加しています。又夏祭り等にも地域の方に参加頂き交流を深めています。	清掃や花壇整備などの地域活動に参加している。秋の神社祭は隣接の公園に子ども神輿がきたり、法人合同の夏祭りには屋台やゲームを催し、大勢の方々が訪れるなど、地域住民と積極的に交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	職員は、認知症の外部研修会、内部研修会に参加し知識を深め支援の方法や地域の方に少しでも理解頂けるよう啓発に努めています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にて、ご家族様や地域の方との意見交換を多く持ち、会議の中で持ち寄られた意見をもとに、サービスの向上に繋げる様努めています。	町の担当者との協議により、外部評価を毎年受審をすることで年2回の開催としている。メンバーから、災害対策やターミナルケアについて貴重な意見等が出され、運営に反映させている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	管理者は、役場主催のサービス調整連絡会議参加し、町内外の福祉関係者と協力関係を築くように努めています。	管理者は包括支援センター主催(町役場)の長沼地域ケア会議へ参加している。空知総合振興局担当者の定期訪問、町の担当者が事業所見学に来るなど、事業所の実情や情報提供を行い、協働関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は、身体拘束の具体的な行為について常に学び、また職員間で情報を共有し、お互いにサポートし合えるよう協力し、身体拘束のないケアを実践しています。また、玄関の施錠をしていません。	身体拘束排除マニュアルに禁止の対象となる具体的な行為を明示している。状態変化による緊急時等における案件の際は、家族とケアの話し合いを持ち確認をしている。一人ひとりが抱える根本的な不安や混乱を取り除くケアのあり方を工夫している。	身体拘束に関わる外部研修の機会に職員の参加を促す意向であるので、実現に期待したい。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	職員は虐待防止について勉強をして理解を深め、虐待のないケアを常に実践し、虐待防止に努めています。		

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(東館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	介護支援専門員での研修会で学んだ事を、職員間で学習するよう努めています。 又現在まで活用した支援は有りません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は、ご利用者様、ご家族様に時間をかけ丁寧に、分かりやすく説明をし、疑問点も解りやすく納得が得られるよう説明を行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族が気軽に、来訪でき、意見、要望をいって頂けるよう、信頼関係を築くように努めています。頂いた意見は法人本部と相談できる体制も有ります。	家族からは訪問した際などの機会に意見を出してもらい、その都度サービスに反映させている。利用者からの要望は多く、気兼ねなく表出できる雰囲気作りに努め丁寧に対応している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	法人本部は定期的に職員個々の意見や提案を聞く機会を設けています。又それらを業務に反映させています。	日常の業務分担を始め、除雪や草取りの当番、畑の管理など、ユニット毎に職員間で話し合い取り決めている。理事長は、管理者と話し合う機会を定期的に持ち、職員とはその都度、面談する態勢を整えている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	法人本部は、直接的、間接的に就業の状況について把握に努めている。パークゴルフ、旅行、食事会など、福利厚生にも力を入れています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	業務に無理のない程度で内部研修、外部研修に参加できるよう配慮しています。参加できなかった職員には資料を配布しています。学んだ知識は実践で行かせるよう努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との合同研修会や、他事業所との交流会でネットワークの機会を作り、意見交換を行いサービスの向上に取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(東館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用者様が、安心して生活して頂けるよう、不安に思う事や困っている事に耳を傾け要望を聴き安心出来る関係作りに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様が困っていることや、不安に思う事に耳を傾け要望を聴き、より良い信頼関係を築けるよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族様やご本人様の思いや要望を聴き、何が必要かを考え話し合い、ニーズに即した支援が出来るように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者様一人一人の、人格を大切に尊重し、お互いに協力し合える家族のような関係を築けるよう努めています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様に生活状況を月1回のお手紙での報告や、電話連絡、ご家族様の来訪時に、報告、相談をしながら利用者様を、一緒に支えていける関係を築けるよう努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご利用者様の、馴染みの品物を持参して頂いたり、馴染みの知人様が、いつでも来訪して頂けるような雰囲気作りに努め交流が継続できるよう支援しています。	近所に住んでいた方が毎週面会に訪れている。西館・東館の利用者が以前隣同士で住んでおり、交流したい意向を受けサポートしている。馴染みのスーパーや商店へ継続して買い物できるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様同士の関係作りの為、それぞれの個性や生活習慣を把握し、ご利用者様同士が支え合い、孤立しないよう職員が仲立ちをし良好な関係が築かれるよう支援しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(東館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご利用者様が入院された場合、馴染みの関係が崩れないように病院へ常に面会に行き、状況聞き、相談や支援をするように努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中で、ご利用者様の希望や意向の把握に努め、ご本人様の思いを汲み取った支援をするよう心掛けています。困難な場合は、ご家族様とよく話し合い、本人本位の支援に努めています。	思いや意向を伝えることができない場合は、本人の様子から想いを察したり、家族から情報を得て意向を検討している。センター方式のシートを工夫し、心身の情報を記載している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご利用者様のご家族や、担当のケアマネージャーに、生活環境や生活歴等の情報をお聞きし、把握するように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活の中で生活習慣や身体状況の現状把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご利用者様、ご家族様の意向をお聞きし、定期的に話し合いを行い、アセスメント、モニタリングを基に、利用者様の現状に即した、介護計画を作成しています。	朝の申し送りや休憩時間等を利用し、日々利用者のカンファレンスを行い情報を蓄積している。介護計画は本人・家族の意向を盛り込んでいる。日々の成果等が更に明確になるモニタリングの工夫を検討中である。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別にファイルを用意し、日々の記録を行い、職員間で共有しケアの実践に繋げています。また介護計画の見直しにも活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご利用者様や、ご家族様の、色々な状況に応じて発生するニーズに対して、その場に即した柔軟な対応が出来る様に努めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会の行事に参加し地域との関わり持ち、地域の中で、豊かに楽しく生活できるよう支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族様の希望を聴きながら職員が付き添い受診しています。主治医との関係を大切に、適切な医療を受けられるよう支援しています。又、訪問診療にも対応しています。	馴染みのかかりつけ医や希望する医療機関の受診体制を整えている。通院は職員が対応し、適宜、家族の協力が得られている。職員として看護師を配置し、健康状況の把握に努めている。	

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(東館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員が配置されており、ご利用者様の状況の変化や、気付いた事を伝え相談し、状況に応じた支援を受けられる体制が整っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際は、安心して治療が出来るよう、お見舞いに行き、相談対応しています。又病院関係者と情報交換を密に行い、早期退院が出来るように努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期については、ご本人様、ご家族様と相談し希望があれば対応するよう努めています。	「グループホームおおきな家 重度化・終末期ケア対応指針」を整備し、契約時に家族に説明して同意を得ている。過去に事業所で看取りを行った職員の協力を得て、ターミナルケアの勉強会を持つ意向である。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防職員の指導にて、定期的に避難訓練消火訓練に参加しております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	町内会、地域住民の皆様にも避難訓練等に参加していただき、災害時に備えた、協力体制も築いています。救命訓練の受講にも参加しています。又、町内会の総会、運営推進会議にて協力をお願いをしています。	消防署の協力を得て、年2回(夜間・火災、日中・地震の想定)の避難及び消火訓練を法人近隣事業所合同で実施している。運営推進会議で災害対策について協議し、非常災害対策計画を整備している。	避難訓練への地域住民の参加協力を期待したい。また、具体的な搬送方法やケア場面を想定した更なる訓練の積み重ねにも期待したい。
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様の、一人ひとりの人格や尊厳を大切に、優しく丁寧な言葉かけで対応するよう努めています。プライバシーにも配慮した言葉かけをするよう努めています。	職員は利用者の自尊心や羞恥心に配慮し、年長者としてのプライドを尊重したケアを実践している。記録は目につかない場所で記入し、棚に保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者様が、本人思いや、希望を表出できるよう言葉かけや、雰囲気作りに努めています。また自己決定が出来るような支援に努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様自身のペースを尊重、優先し、一人ひとりが自由でありのままに生活出来るよう支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時、入浴時に自己決定ができるよう支援していきます。美容室へ行きたい方は個別に対応しております。		

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(東館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者様の、嗜好を把握し楽しく食事が出来るよう努力しています。本部より、行事食の配達もあります。職員と簡単な料理作りにも参加して頂いています。後片づけを出来る方に行って頂いています。	好きな食材や献立を聞きながらメニューや、おやつで提供している。畑で収穫した野菜や果実も取り入れている。行事でカニ飯や流しそうめんを提供したり、個別通院の帰りに外食をする事もある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご利用者様の水分量、食事量を記録、把握し習慣に応じた支援をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時、毎食後の口腔ケアを行っております。介助が必要な方には職員が補助をしておこなっております。終寝時、義歯の洗浄を行います。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表で排泄パターンを把握し、できるだけトイレで排泄が出来るよう支援しています。	排泄記録を生活シートに記入しており、トイレで気持ちよく排泄できるよう、利用者ごとの間隔を確認しながらこまめに声かけし、失敗のないよう支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防の為の運動や水分摂取の声かけを行ったり、下剤などを使用し個々に合った排便コントロールをしています。毎日、乳製品を多く取れるよう対応しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	原則として、月曜日から金曜日までが入浴日ですが、個々の希望、体調に応じて柔軟に対応しています。入浴剤を利用して気分転換を行います。	1人当たり週平均2回、平日に利用者3～5名が順番に入浴している。好みのシャンプーを使い気持ちのよい入浴時間になるよう、個々に沿った支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご利用者様、個々の状態に応じて、柔軟に対応しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全職員が服用している薬の内容を理解できているか確認をしたり、薬の変更が有った場合は記録に残し申し送りを確実にし症状の変化や副作用について注意、確認を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	季節に合わせたホーム行事や、お誕生会に参加して頂き、気分転換をして楽しんで頂いています。また個々に合った役割で力を発揮できるよう支援しています。		

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(東館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近所を散歩したり、公園で日光浴をしています。又お花見や紅葉狩りにも出かけています。買い物のご希望があれば、買い物の外出支援も行っています。	町内の花植えや神社祭りで住民と交流したりドライブで栗山公園、馬追温泉、長沼神社へ出かけている。個別に馴染みの薬局やスーパーに出かけており、個別の外出支援にも力を入れている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員が必要に応じて支援しています。ご本人様で管理が出来る方もおり、必要な物を買えるように支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご利用者様が、気軽に電話などして頂けるよう声掛けや雰囲気づくりをしています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者様が、ゆたりとして、居心地よく過ごせるように、雰囲気づくりをする工夫を心がけています。	季節感のある暖かく清潔な居間でソファや椅子など好きな場所で過ごす事が出来る。職員が「寒くないですか」と利用者毎に声かけし適温に感じているか確認をしている。加湿器の他にウイルス除菌消臭剤も使い安心して過ごせる配慮がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自由に、ご本人様のペースで過ごせるように、声掛けをし、居心地の良い雰囲気作りをしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者様が、今まで使っていた馴染みの物や写真を居室に置いて頂き、ご自宅の雰囲気や、ご本人様が安心して過ごして頂ける環境作りをしています。	好みのものを持ち込み安心して過ごせる部屋となっている。家族の写真や遺影、仏壇、テレビ、ラジオ、ぬいぐるみ等、どの部屋も居心地よく暮らしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部は、ご利用者様が迷う事がなく、安全で分かりやすい作りになっています。いつまでも、安心して自立した生活が送れるような支援に努めています。		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	O175800291		
法人名	特定非営利活動法人 ほのか会		
事業所名	グループホーム おおきな家 西館		
所在地	夕張郡長沼町西町1丁目4-6		
自己評価作成日	平成29年2月17日	評価結果市町村受理日	平成29年3月24日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2016_022_kan=true&JigrosyoCd=0175800291-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成29年3月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用者様一人ひとりの個性や思いを尊重し、ご支援させていただいています。 季節の行事や散歩などに参加し、地域住民との交流を少しでも多く持てるように、また家庭的な雰囲気 気で生活を楽しんで頂けるような支援に努めています。 毎年「みんなの家」と合同で夏祭りを開催し、ご家族やご近所の方を招きご入居者様と共に交流を深 めています。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)		1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
		○	2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己 評価	外部 評価	項 目	自己評価(西館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「ゆったりと楽しく自由に、ありのままに暮らしの喜びと自信をみんなと共に」を法人共通の理念に掲げ、目につきやすい位置に掲示、共有し、利用者様の支援に努めています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し「花いっぱい運動」や「清掃活動」に利用者様と一緒に参加したり、夏祭りなどの行事にも近隣の方々をお誘いし交流を深めています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症について職員が共通の理解を持てるよう研修会に参加し、地域の方々にも理解や支援を伝えていけるように努めています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	当ホームの取り組みや、評価をしご家族様や地域の方からいただいた意見を今後のサービスに反映できるよう努めています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	協力関係を築くよう努めています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は、研修会などで身体拘束の具体的な行為について学び、職員間で情報を共有し、サポートし合えるよう協力し、身体拘束のないケアを実践しています。また玄関の施錠はしていません。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員は、研修会などで虐待防止について学び理解を深め、虐待のないケアを実践し、利用者様の身体状況の報告も常に行い、防止に努めています。		

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(西館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度等は、研修を通じ学ぶ機会はありませんが、現在まで活用した支援はありません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は丁寧に説明をし、ご家族やご本人の不安や疑問についても耳を傾け解りやすく説明するよう努めています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の来訪時などに利用者様の状態を報告したり、ご要望や、ご意見などいつでも聞く事ができる体制を持ち、運営に反映できるよう努めています。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員間での情報交換や意見交換など行い業務に反映できるよう努めています。 また法人本部は職員の意見や提案を聞く機会を設けそれらを業務に反映させています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は、直接的、間接的に職員の就業状況の把握に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は、職員一人ひとりのケアの実際を把握し、研修会の機会の確保を行い、ケアの質の向上に努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との合同研修会などでネットワークの機会を作り意見交換をしサービスの向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(西館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人やご家族からこれまでの生活環境や情報をお聞きし困っていることや不安なこと、抱えている問題などに耳を傾け安心してサービスを受けることができるような関係づくりに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族が不安なこと困っているこに耳を傾け、要望を確認し、少しでも不安が解消できるように支援していく事でよりよい関係を作れるよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	情報収集、評価し早急に対応が必要な支援か否かを見極めニーズに即した支援ができるよう努めています。また他のサービスも必要かを検討し都度対応できるよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者一人ひとりの人格を大切にし一方的な介護ではなく家族的な雰囲気で物事を一緒に行っているような関係づくりに努めています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人の生活を支えるという目的のもと、生活状況の報告や、相談をしながらご家族と一緒に係わり支えていけるような関係づくりに努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人や友人の来訪は少しでも多くの方が継続して来て頂きたいという雰囲気づくり、姿勢を心がけています。また行きつけの美容室への送迎など行い、これまでの関係が途切れないような支援に努めています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様同士の関係づくりのために、一人ひとりの個性や、生活習慣を把握し、利用者様同士が支え合い孤立する事がないよう関係づくりの支援をし、お互いに助け合い良好な関係を作れるようサポートしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(西館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご利用者様が入院をされた場合は、馴染みの関係が崩れないように病院へ会いに行き状況を聞いたり相談支援をするよう努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご利用者様の思いや意向の把握に努め個々の思いを汲み取った支援をするよう心掛けています。またご本人の意向が解るように書類を用意し全職員が把握できるように努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族、ケアマネージャーから出来る限りの情報収集をし、ご本人のこれまでの経過を把握するよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活の中で生活習慣や身体状況の現状把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	3か月ごとの介護計画書作成時に職員に利用者様の状態の確認を行い関係者とモニタリングし、現状に即した介護計画を作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別にファイルを用意し、記録し職員間で情報を共有し日々のケアの実践に繋がっています。介護計画の見直しにも生かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様やご家族様の状況に応じて発生するニーズに対して柔軟な対応ができるよう心掛けています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	福祉サービスや医療機関を把握しニーズに対応できるよう努めています。また町内会の行事にも参加し豊かな生活ができるよう支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人やご家族の希望を、尊重し継続して受診ができるよう支援しています。受診時は職員が付き添い主治医との関係を大切に適切な医療が受けられるよう支援しています。		

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(西館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	非常勤の看護師が配置されておりいつでも対応できる体制が整っています。職員は利用者様の健康状態の把握に努め、状況に応じて看護師へ連絡、相談し適切な看護が受けられるよう支援しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際は安心して治療し、早期に退院ができるよう病院関係者との情報交換や相談を密に行うように努めています。また通院時には情報交換し病院関係者と協力できるような関係づくりに努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期については、ご本人やご家族と相談し希望があれば対応するよう努めています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的ではないが、初期対応や心肺蘇生の研修会にて訓練を行っています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回火災や地震を想定し避難訓練を実施しています。協力体制については地域運営推進会議において話し合いがなされ協力体制ができています。		
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格や尊厳、プライバシーに配慮した声掛け、対応をするよう心掛けています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定や思いを表出できるような意図的な声掛けや表情の観察、雰囲気づくりに努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを尊重、優先し各々が自由にありのままに自分らしく過ごすことができるよう支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	鏡の前で髪を整えていただいたり、入浴の着替えの準備、外出の際の洋服選び等、出来るだけ自己決定ができるような支援に努めています。		

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(西館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者の嗜好や嚥下など把握し食事を提供しています。また食材の下準備や食後の後片付け等に参加していただき、職員も同じテーブルと一緒に会話をしながら食事を楽しんでいます。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの習慣を把握し水分量や食事量のチェックを行い各々の一日の摂取量が確保できるよう支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時、毎食後の口腔ケアの支援を行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表で排泄パターンを把握しトイレで排泄ができるよう声掛けや介助を行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防のため水分摂取、運動の声掛けをしています。また排泄チェック表を用いて排便パターンを把握し、主治医と相談し必要に応じて下剤を使用しスムーズに排便ができるよう支援しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	原則として、月曜日から金曜日が入浴日ですが、個々の希望、体調に応じて柔軟に対応しています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々のその日の状態や習慣に応じて休息が取れるよう支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご利用者様個々の薬の内容や用法、副作用について理解に努め、薬の変更があった場合は記録と申し送りを適格に行い、症状や副作用について注意し、状態によっては主治医や薬剤師に相談し調整しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人の状態に合った役割で力を発揮できるような支援に心掛けています。またお誕生会や、季節に合わせたホーム行事に参加いただき気分転換が図れるように努めています。		

グループホーム おおきな家

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(西館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	悪天候や冬季以外はお出来る限り近所を散歩したり日光浴などの支援をしています。また買い物や美容院など要望に応じて対応しています。お花見や紅葉狩りなどのドライブの外出支援にも努めています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理が出来る方は所持し必要に応じて使えるよう支援しています。また預かり金として管理しご本人の要望により使用しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご利用者様からの要望があれば支障がない限り気軽に電話や手紙での交流ができるよう支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者様が、ゆったりと居心地よく過ごせるような環境を作るように努めています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人の時間、または気の合った方と楽しめるよう座る場所に配慮したり、雰囲気作りに努めています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用していた慣れ親しんだ道具や、家具、ご家族の写真など持ってきて頂き自宅のような雰囲気の中で安心して落ち着いて生活できるよう支援しています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物はご利用者様が迷う事が無く解りやすい作りになっています。少しでも自立した生活を送って頂けるよう手摺の設置、家具の場所などスムーズに行動できる環境づくりに努めています。		

(別紙4-2)

目標達成計画

事業所名 グループホーム おおきな家

作成日：平成 29年 3月 22日

市町村受理日：平成 29年 3月 24日

【目標達成計画】

優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	6	身体拘束に関する外部研修に参加する機会が無かった。	身体拘束禁止の対象となる行為の基礎知識を深めていきたい。	身体拘束に関する外部研修の機会を定め、全職員に参加を促し、身体拘束の対象となる基礎知識及び、具体的行為についての学びをも深めたい。	1年
2	35	避難訓練時、地域住民の方々の参加協力が得られていない。	地域住民の皆様に、その都度、避難訓練参加の大切さの説明を行う。	地域住民の皆様に、避難訓練参加の大切さを、常に説明し、参加の呼びかけを続けたい。 また、訓練時、具体的なケア場面を想定した訓練にも取り組みたい。	1年
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。